

産業能率大学 情報マネジメント学部

経営史	履修年次	3・4	
	単位	2	
相原 和之	配当期	前・後	
	授業方法	講義 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>現代の日本はグローバル化・国際化は避けて通れなくなっており、製品の輸出や海外での生産・販売といった事業活動だけでなく、これからは、より多くの海外企業の日本市場への進出・事業展開、海外からの旅行者の増大による観光事業等のサービス業の発達、海外移民の雇用の拡大といった影響はより増強することが予想される。</p> <p>一方で、「日本企業のイノベーションや新しいビジネスアイデアが足りない」と言われて久しい。では、どうすればその「新しいビジネスの種なる知」が生まれるのかというと、一つは「既存の知どうしの組み合わせ」である。人間はゼロからは何も生み出せないことから、この「既存の知」を探究することが大事であるといえる。それを理解する最適な材料となる代表的な「マネジメント経営書」の概要を講義の中で展開する。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・国際化・グローバル化を可能にするマネジメント要因を理解して、実践の場にどう応用できるかがわかる。 ・海外での展開や組織、人材の問題を分析して、どういったやり方が良いかを導きだせる。 ・グローバル化する社会やビジネスを理解して、グローバル化した社会でどう考え、行動したらよいかかわかる。 			
成績評価の方法			
授業出席、授業外学習、課題提出、定期試験により以下の割合で総合的に評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	日本企業の国際化と授業の概要	8	スティーブ・ジョブスの経営戦略
2	国際化の理由	9	富士ゼロックスの戦略
3	輸出による国際化	10	ソフトバンクグループの世界戦略
4	日経平均株価の推移と日本企業の動向	11	IYグループの成長
5	サービス産業の国際化	12	ソニー・パナソニックのビジネスモデル
6	企業の栄光と挫折	13	グローバル経済と日本企業が今後とるべき方向
7	企業の競争優位	14	講義のまとめ